

福岡座禅道場俳句会二月句会結果

天 靴音も幾分軽し春隣 (日下部)

地 梅が香に心ゆすられふと我に (宗道)

人 紅梅のほのかに香る神の域 (日下部)

人 なんとなく陽の輝くや春近し (寶州)

人 盆梅の置き場に迷う楽しさよ (靈峰)

人 ぼかし絵のごとき梅林つづきけり (宗道)

梅が香に心ゆすられふと我に (宗道) 4

靴音も幾分軽し春隣 (日下部) 5

山眠り湖水動かず夕暮れし (寶州) 1

瀨祭の句はまとまらず一人酒 (靈峰)

寒紅梅空まで紅く染めにけり (宗道) 2

初めての雪踏みしめて友一人 (白堂) 2

紅梅のほのかに香る神の域 (日下部) 3

庭園の梅もちらほらほころびぬ (無傳)

夕暮れの湖水静かや鴨の声 (寶州) 1

強東風や願いに応える絵馬の音 (日下部) 2

恋猫が肉球舐める日中かな (靈峰) 1

白梅やうしろ姿の清楚なる (宗道) 2

老梅も好悪を知らず咲きにけり (無傳)

会話なく海苔干す夫婦あ・うんの間 (日下部) 2

紅梅の笑ききって白ふくらみつ (白堂) 1

なんとなく陽の輝くや春近し (寶州) 3

盆梅の置き場に迷う楽しさよ (靈峰) 3

せまき菓舗あるじ自慢のさくら餅 (宗道)

妻と見る大河ドラマや菜の花忌 (靈峰) 1

着ぶくれを咎められつつカート押す (白堂) 2

故郷の遠き思いで檳柑山 (寶州) 1

甘酒の香ふんわりと夜坐の堂 (白堂) 2

ぼかし絵のごとき梅林つづきけり (宗道) 3

薄氷や朽ちかけてある古社 (靈峰) 2

小鳥等の訪ふは庭の椿かな (寶州) 1

一輪の梅も満開摂心会 (無傳) 1

春浅し完成を待つ新校舎 (日下部)

※ 次回の投句締切は、三月十日(金)です。よろしくお願ひします。 靈峰 拝

